

# がんばれ高井田

全国学力特集号

令和6年9月11日

東大阪市立高井田中学校

校長 辻 秀明



## 全国学力量習状況調査の結果について



4月18日(木)全国の小学6年生と中学3年生を対象に全国学力量習状況調査が行われました。中学3年生は国語、数学の問題にチャレンジし生活習慣や学習環境等に関する調査に答えました。今回は解答用紙にシールを貼ったり、生活習慣や学習環境等に関する調査では全員がタブレットを活用したりして実施されました。

先日その結果が返ってきました。本調査による学力は、あくまでも学力の一部であり学力のすべてを示すものではありませんが、平均正答率だけを取り上げると、今回は学校にとって厳しい結果となりました。調査対象となった3年生の生徒は、一人ひとりの成果や問題点について記述された個票をしっかりと読み、今後の学習につなげていって欲しいと思っています。ここでは本校全体の状況についてお知らせします。本校では、調査対象となった3年生だけでなく全学年の全ての授業において今後、課題の改善に取り組んで参りますが、学力向上を図るためには日々の授業はもちろん家庭学習を意欲的に行うことも肝要です。各ご家庭においてもこの機会に日々の授業の様子を聞いていただき、家庭学習についてご家庭でも話し合う等、ご指導いただけたらと思います。

(大阪府、東大阪市の結果については、各府市のホームページに掲載されています。)

## 国語について

国語は全国の平均正答率を約4ポイント下回っていますが、学習に対する関心・意欲に関しては、全国平均を上回っています。これは授業でICT機器等を活用し国語の興味・関心が高まる工夫をしている成果だと考えられます。しかし「思考・判断・表現」の正答率が低く、特に「記述式」の問題の正答率に課題が見られました。また解答を文章で書く問題に対する苦手意識が結果から表れています。これまで授業で、単元ごとに意見文や感想文を書く機会を設定して取り組み、学校行事等でも長文の感想文を書き、多くの「書く」力が高まる取り組みを実施しましたが、今回の調査では、成果が顕著に表れませんでした。

今後、生徒たちの授業に対する積極的な姿勢及び学習に対する意欲を大切にしながらさらに国語への興味・関心が高まるような授業展開の工夫を継続していきます。そのうえで、「記述式」の問題に対する苦手意識を克服し、「書く」力がさらに高まるような授業展開を考えていきます。そして、物事や出来事のひとつひとつに対して興味・関心を持たせ、自分の意見や感想を正しく文章で著すことができる力を定着させていきたいと考えています。

## 数学について

「数学の勉強は好きですか」の本校生徒の肯定的な回答が、全国平均と比べ13.2ポイントも上回りました。その反面、平均正答率は全国平均よりも約3.5ポイント下回る結果となりました。中でも「思考・判断・表現」の正答率については、全国平均よりも4.6ポイント下回っているため、本校の課題と考えられます。また、「ICTを活用することで、自分の考えを分かりやすく伝えることができる」の肯定的な回答は、全国よりも23.1ポイント上回る結果でしたが、説明を書く問題に関して、「全ての問題で最後まで解答を書こうと努力した」と回答した本校の生徒は、全国平均と比べ6.1ポイント下回る結果となりました。

以上のことから、授業や学習に関して前向きに取り組んでいる割合が多く、特にICTを通じた表現力は高いと考えられますが、「書く」ことによる表現力が弱点であると考えられま

す。よって今後の取組みとして、「なぜそうなるのか」という問いについて記述説明をする練習を積極的に行っていく予定です。また、学力向上のためには反復することが必要ですので、「自分に必要な家庭学習は何か」を考えさせ、それらに取り組んでいけるような手立てを考えていきます。

## 生活習慣・学習意欲について



生活面においては、約80%の生徒が毎日朝食を食べている、就寝・起床時間が毎日同じ等、生活は安定しています。また基本的な生活習慣も身につけており、いじめはどんな理由があっても許さない等、規範意識も高い生徒がほとんどです。また人が困っているときは進んで助けたい、人の役に立つ人になりたいと思っている生徒は実に約90%います。また約90%の生徒が友だち関係に満足しており、学校に行くのが楽しいと答えた生徒は85.7%、普段の生活の中で、幸せな気持ちになると答えた生徒は86.8%でした。しかし「自分には良いところがある」と答えた生徒は約67%にとどまり、将来の夢や希望を持っていると答えた生徒も約65%で、自己肯定感、自己有用感を高めることが今後の課題であると考えられます。放課後の過ごし方については、約70%の生徒が校内のクラブ活動に参加しており、その他の生徒も外部で習い事などに通っており、活発に活動している様子を伺うことができます。

また一人1台配備されて4年目になるタブレットについては、授業ではほぼ毎日活用しており、ICTを活用することで、ほとんどの生徒が「楽しみながら学習を進めることができ、自分の考えを分かりやすく伝えることができる」と答えていて、学校生活や家庭学習にも、活用でき成果を上げています。しかし家庭学習で1日当たり30分以上学習のために使っている生徒は約半数しかおらず、その反面ゲームに2時間以上費やしている生徒が約65%もあり、中には4時間以上の生徒も約30%いるのには驚かされます。また動画視聴にも1日当たり2時間以上費やしている生徒も約70%おり、まだまだ生徒たちのICT機器の使い方には、課題が多いことがよくわかります。さらにICT機器を不適切に使用しトラブルになったり、学習の妨（さまた）げになっているケースも見られます。全国的にもICT機器でSNSや動画視聴に費やす時間が延びていて、これらの時間が長くなると平均正答率が低くなる傾向も見えてきています。

今後は、ご家庭と協力してICT機器をさらに有効に活用し、生徒たちが安心して学校生活や学習を計画的に継続できる環境を整えることが重要であると考えています。

## 今後について

- ① 全職員が生徒全員に主体的に学習に取り組む態度（調整力）を高めることができる授業をめざして、「探究」をテーマに協同学習を意識した授業の在り方について研究授業や研修を重ね、これまで以上にわかりやすい授業づくりに学校を挙げて取り組んでいきます。
- ② 国語、英語で少人数授業や入り込み授業を継続し、きめ細かな指導をしていきます。
- ③ 全校体制で実施している朝の読書活動をさらに充実させ継続していきます。また放課後に図書室を開室し、読書だけでなく学習の場としても活用していきます。
- ④ 学習意欲を向上させるために「学力向上通信」を発行していきます。また定期的に「全校集会」で学力に関する講話を行っていきます。
- ⑤ 家庭学習を推進するため月1回程度「高中塾」を行います。また3年生には実力テスト前に「特別講座」を開講し、入学試験に向けた指導も行っていきます。
- ⑥ 「職員学習会」を開き主体的に学習する方法を職員間で共に考えていきます。
- ⑦ タブレットを使用した授業づくりを推進していきます。ロイロノートやA Iドリル（キュービナ）などを家庭学習や授業内で積極的に活用していきます。
- ⑧ 小中一貫教育を推進し、小学校と共に、生活・学習規律を大切にし、校内環境を整え、落ち着いた高井田中学校区にしていきます。